

二〇二一年度

富山大学人文学部私費外国人留学生選抜

小論文

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、問題冊子の表紙を開かないこと。
- 二 試験問題は三枚、解答用紙は一枚、下書き用紙は一枚である。
試験開始の合図があつてから確認すること。
なお、試験問題および解答用紙に文字などの印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、汚れなどがあつた場合には、手を挙げて監督者に知らせること。
- 三 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入すること。
氏名を書いてはいけない。
- 四 解答は日本語で書くこと。
- 五 解答は指定された解答用紙に記入すること。
指定された解答用紙以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としない。
- 六 配布された試験問題および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ること。

次の文章を読んで、後の問題に答えてください。

著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

著作物引用箇所のため非公表

(生島遼一「文学的反省」『水中花』岩波書店、一九七二年より。一部改変した箇所がある)

(注1) 林語堂 中国の作家、言語学者。北京大学の教授などを経て文筆活動に専念。

魯迅やパール・バックらと親交があり、渡米後はシンガポールや台湾で活躍した。

(注2) 尻馬にのる 他人のあとについて、無批判に物事をする事。

(注3) 弊 ならわしとなった悪さ。

(注4) 畢竟 つまるところ。結局。

問一 筆者は「健全な理性」を育むにはどのようなことが大切であると考えていますか。二〇〇字以内で説明してください。

問二 筆者は「簡単に抽象できない思想を見出すこと」に文学の価値を見出していますが、あなたは思想を育てるとはどういうことだと考えますか。筆者の議論をふまえながら自説を六〇〇字以内で述べてください。

下書き用紙（この用紙は提出できません）

